

【NEWS RELEASE】

2020年12月4日

SMBC日興証券株式会社

独立行政法人水資源機構のサステナビリティボンド引受けのお知らせ
～SDGs財投機関債市場における初の気候変動適応債の発行～

SMBC日興証券株式会社は、この度、独立行政法人水資源機構（理事長：金尾 健司、本社所在地：埼玉県さいたま市、以下「水資源機構」）が発行するサステナビリティボンド^{*1}（第18回水資源債券）の引受けにおいて共同主幹事を務めることになりましたのでお知らせいたします。

水資源機構は「安全で良質な水を安定して安くお届けする」を経営理念とし、国民生活・経済にとって特に重要な水に携わる政策実施機関として、安全で良質な水を安定して安くお届けするとともに、洪水のはん濫被害から地域を守り、安全で豊かな社会づくりに貢献しています。気候変動による異常渇水・異常洪水の発生、地震等による大規模災害の発生、施設老朽化の進行など、近年顕在化し増大しつつある水に関するリスクに対し、事業の実施にあたって、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築や地球環境保全に資することが社会的責務との認識に立ち、環境関連法規制の順守及び環境負荷の低減と良好な環境の保全・創出に取り組んでいます。

この度、ICMA（国際資本市場協会：International Capital Market Association）が定めるグリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則の枠組みに則り、治水・利水事業の一体性を考慮しサステナビリティボンド・フレームワークを策定しました。また株式会社格付投資情報センター（R&I）より第三者評価^{*2}を取得しております。これにより、今後の調達資金は、水資源機構が行う治水・利水事業におけるダム及び用水路などの建設事業等の新規資金及びリファイナンスに充当されます。

当社では、金融・資本市場におけるビジネスを通じた環境・社会課題の解決のため、専門部署である「SDGsファイナンス室」を設置し、ESGの推進に積極的に取り組んでおります。この度の引受け



は、当社におけるサステナビリティボンド及びSDGsファイナンスに係る知見を示すと同時に、日本におけるESG投資、ESGをテーマとした商品の更なる拡大に繋がるものと考えております。また、本サステナビリティボンドの引受けを通じて、当社はSDGsの掲げる「安全な水とトイレを世界中に」、「住み続けられるまちづくりを」、「気候変動に具体的な対策を」及び「陸の豊かさを守ろう」の目標達成に貢献していきます。

いっしょに、明日のこと。
 Share the Future

※1 調達資金の使途が、①環境改善効果があること(グリーン性)及び、②社会課題解決に資するものであること(ソーシャル性)の双方を有し発行する債券。

※2 R&I から「ソーシャルボンド原則 2020」、「サステナビリティボンド・ガイドライン 2018」、「グリーンボンド原則 2018」及び「環境省グリーンボンドガイドライン 2020 年版」に適合している旨の第三者評価を取得。

【今回発行される独立行政法人水資源機構のサステナビリティボンド(第 18 回水資源債券)の概要】

名称	第 18 回水資源債券(サステナビリティボンド)
回号	第 18 回
年限	3 年
利率	0.001%
単価	100.002 円
発行額	50 億円
条件決定日	2020 年 12 月 4 日(金)
払込日	2020 年 12 月 18 日(金)
償還日	2023 年 12 月 20 日(水)
取得格付	AA+(R&I)

以 上